

# 次回、第4回ワークショップを1月20日(金)に開催します

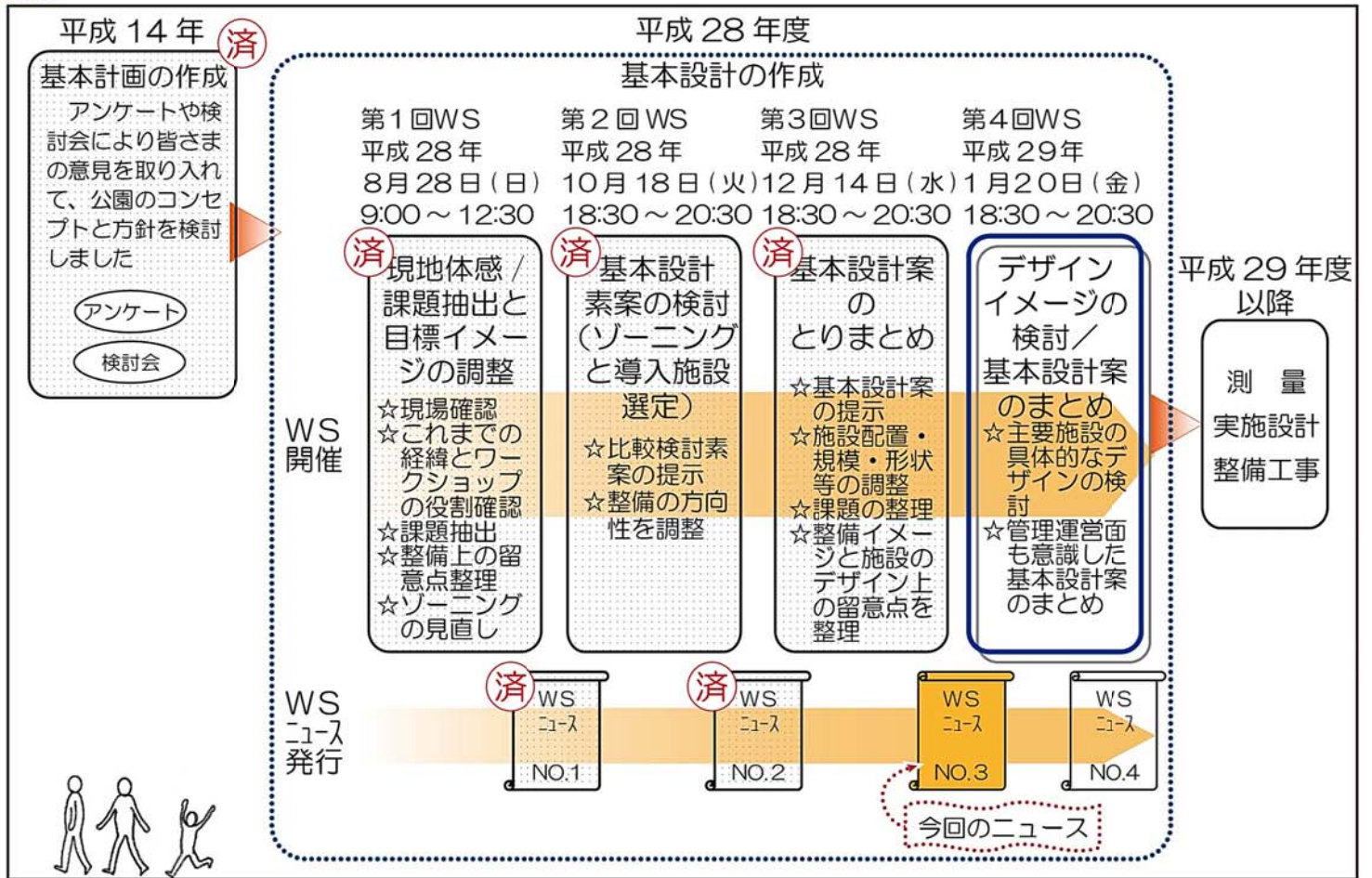
第3回のワークショップで頂いた基本設計案に対していただいた意見を踏まえて修正した基本設計案を提示し、ご報告します。将来管理にも留意しながら、計画案の確認を行います。

日時：平成29年1月20日(金)  
午後6時半～8時半  
会場：市立市川歴史博物館  
2F 講堂

- ☆検討内容☆
- ・整備計画案のまとめ
  - ・主要施設のデザインの検討
  - ・管理運営に留意した検討
- 他



## ワークショップスケジュール(経過と今後の予定)



【お問い合わせ先】  
株式会社あい造園設計事務所 電話：03-3325-6660 ファクシミリ：03-3325-6262  
【事業担当課】  
市川市水と緑の部公園緑地課 電話：047-712-6367 ファクシミリ：047-712-6365

# 「小塚山公園拡充予定地の整備を考える会」 ワークショップニュース

発行/市川市水と緑の部公園緑地課  
編集/(株)あい造園設計事務所  
発行日/平成29年 1月10日

No.3

小塚山公園拡充予定地の整備プランについて、平成14年に地域の皆様のご意見をいただきながら検討いたしました。  
今年度のワークショップは、周辺自治会から応募いただき、当時の計画案をもとにして、周辺状況の変化などを考慮しながら、基本計画の見直し及び基本設計を行っていきます。

## 平成14年に行われた公園のコンセプトと方針

- コンセプト：緑と水をつなぎ、里山の自然を育み継承しながら、地域の全ての人々が安心して集い交流する「環境ふれあい公園」
- 方針1：『堀之内貝塚公園、小塚山公園、じゅんさい池緑地を緑の散策道で結び、日常生活や自然散策に便利な公園づくり』
  - 方針2：『安心して暮らせる生活環境の向上のために安全で清潔な公園づくり』
  - 方針3：『子供からお年寄りまで全ての人々が自由にのんびりとくつろげる明るくて開放感のある公園づくり』
  - 方針4：『緑豊かな地域の自然とふれあい、四季の変化を享受できる公園づくり』
  - 方針5：『自然と楽しく遊べる里山体験を基調とした個性豊かな公園づくり』
  - 方針6：『自然と共生する暮らしを継承するために谷津の自然景観とそこに生きる動植物を守り育む公園づくり』
  - 方針7：『地域の歴史風土を学べる原風景を保全するために谷津地形を活かした公園づくり』
  - 方針8：『地域の共有財産である公園の管理に主体的に参加する公園づくり』

## ご報告

### 12月14日(水)に第3回ワークショップを開催しました!

メンバー21人の参加のもと、前回のワークショップで話し合った内容を踏まえて作成した基本計画案について、グループごとに内容の検討を行い、施設配置や規模・形状、イメージについて話し合い、まとめていきました。



※詳しくは、2～3頁をご覧ください。

### 水の導入・原風景の再生

- 遊具などの何もない自然の空間がよい
- 流れは下流までつなげてほしい
- 水深が浅いと涸れないか？
- 水量を増やすために井戸の掘削を検討しては？
- 自然のような緩い斜面状の水路敷きがよい
- 水路敷きもいくつか組み合わせでは？
- ホタルの放流、育成をしたい
- 蚊の発生が心配
- 池に魚の放流をしないようなルール作りが必要
- 流れの構造は自然な作りがよい。コンクリート等はやめてほしい

### 広場空間

- 災害時に避難してくる人はいないのでは？

### 主要施設配置と動線

- 園路はベビーカーや車いすが利用できるのんびり歩ける幅員や勾配がよい
- 駐車場は8台もいらぬ。半分程度でよい
- 駐車場は車いす利用者用として台数はあまりいらぬ
- 駐車場は管理車両や緊急車両が止まれることを考えればこの程度でよい
- 駐車場は中央に障害者用に4台、南東側へ管理者用として4台とに分ける
- 駐車台数を減らして活動で使う倉庫を設置したい
- フィールドアスレチック広場の利用者も含めると駐車場は8台では足りない。また、先着順で占用されても困るので有料化して、維持管理費の財源としてはどうか
- 周辺の利用者用に駐輪場は必要
- トイレはここでよい
- コミュニティの拠点として、管理棟がほしい
- 屋根のある場所やベンチ、物置がほしい
- 集会施設として、パーゴラの位置を検討してほしい
- 出入口を増やしてほしい
- 緑の繋がり、エコブリッジから堀之内貝塚公園への生き物のための動線を考えてほしい
- 外かん道との境界の作り方を考えてほしい（できれば公園と一体化利用が望ましい）

### 植栽

- 湿地に適した樹木を選んでほしい
- コブシ、ドングリの生る木、ハンノキ、ヤナギなどがあるとよい
- 芝生広場には木登りできるような、シンボルツリーがあるとよい
- サクチユアリの森は夜危険な場所にならないようにしてほしい
- 緑が少ないと夏が暑い。広場に緑陰樹を増やしてほしい
- 計画地両側の公園を結びつける「森」の存在が明確になるようにエコブリッジから堀之内貝塚公園への緑が多くてもよいのでは
- 築山周辺に転落防止や園路との境界に安全確保のため植栽が必要
- 市の樹木を使用してほしい
- 元々自生していた樹木をたくさん植えてほしい
- 住宅地側に高木はいらぬ
- エコブリッジの西側は遮蔽性のある樹種を植えてほしい
- 築山に植える樹木は低くしてほしい

### エコブリッジ周辺の構成

- 近隣に対して圧迫感がある。向きや位置をかえられないか？
- 階段の配置は検討できないか？
- 高い壁が立ち上がるようにはしてほしい
- 住宅地側からの景観にも配慮してほしい
- 地盤がよくないので、土砂崩れなどが心配
- 整備に伴う築山や植栽地の配置等について近隣住民の理解が得られるか？

### その他

- 手洗い場等が必要
- 照明灯は動物や昆虫など生き物に対して害にならないものがよい。生態系に配慮した灯具にしてほしい
- 既存の研修所は古くて使えないので、小さな集会所がほしい
- パーゴラや防災倉庫などに集会所機能を付加できないか
- 通学路には照明灯が必要
- 防犯のため、道路際には照明灯が必要だが公園内部はいらぬ

### 公園の目玉

- 流れがあること。自然の中の水辺で遊ぶ姿が見れること
- 水にまつわるもの（水車、滝、樹木等）を公園のポイントとし、学びや趣味のきっかけに
- プレイパークとしての運用
- ここならではのものを置くなどして、この空間性を活かしたものにしてほしい

